



城南中だより

2学期末号 令和7年12月24日発行

学校教育目標

希望と愛をはぐくむ
美と活力の学校

〒339-0034 さいたま市岩槻区笹久保577 <http://jounan-j.saitama-city.ed.jp/>
TEL 048-798-0007 さわやか相談室直通 048-797-0514

健康第一、よいお年を！

校長 吉原誠士

二学期終業です。校長室の壁にも自作リースを掛けてクリスマスマードを演出しました。数年間、放課後や休日の余暇を利用して製作したものをオールスター展開しています。この2年は終バス縛りも加わって新作に手がついていません。「多忙で何もできない」ことは仕方のないことであっても、少々ストレスを覚えます。干支の木目込み人形も未完成のままで新年を迎えそうです。

ところが仕事が押し詰まったこの時期に入って、(ワクチン接種したのにもかかわらず!)インフルエンザ・ウイルスに捕まりました。「感染者と接する機会が多い教員では免疫が強化される」との話は可能性に過ぎないことを我が身で確認する羽目になりました。高熱と頭痛で寝込んでみて、「身体の都合や病気で何もできない」のに比べれば「仕事や他の忙しさで何もできない」のは贅沢な悩みであり、しかも本人の工夫次第で解決も可能な問題であることがわかつてきました。

再任用期間を終えたら、その後も引き続き現場で教員を続けるのが私の計画です。校長ではなくても、やりたいこと、やれることはまだまだあると思っているのです。昔から「趣味と特技は仕事です」「サメやマグロと一緒にいます」と自虐ネタを言って歩くのが喜びでもありました。家系的には長寿であり、祖母が106歳まで生きたこともあります、私も人生をたっぷりと楽しめるだろうと信じていたのです。・・・やはり「何もできなくなる」訳にはいかないです！

健康第一です！ この冬休みはまず「多忙で何もできない」との考えを捨て、以前も紹介した、「『何もしない』をする」ことでオンオフのバランスを整え直します。懸案事項は一つずつ片付け、フィジカル・メンタルの安定に努めて満足感の高い3学期スタートを迎えることにします。ここでも競争が役立っています。中学校時代からの友人たちは元気一杯で、故障者がいません。レースは続きます。あと40年頑張らないと！ 皆様も、健康に留意しながら良いお年をお迎えください。

「花笑み学校」、時代の中に脈々と受け継がれる「つながり」、楽しみです！



◀ これで半分くらい



正月飾り製作中 ▶

